

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年3月18日

【2019年3月9日～2019年3月15日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。年金改革法案承認について楽観的な見通しが強まったことから、ブラジル・レアルは買われました。

年金改革法案承認の第一段階である、下院憲法司法委員会が招集されました。委員会の構成メンバー66名の内、33名はすでに年金改革法案に賛成の意向を示しており(承認には34票以上が必要)、さらに3名が追加で賛成する見通しと現地紙が報じたことで、法案承認について楽観的な見通しが強まりました。マイア下院議長は、委員会での票決はボルソナロ政権が軍人年金改革法案を提出した後が適切としており、3月28日前後(現地、以下同様)に行われる見通しです。

なお、軍人年金改革法案については3月20日に提出される予定で、受給に必要な兵役期間を従来の30年から35年に引き延ばす案などが検討されていると、現地紙が報じています。

経済指標に関しては、1月の鉱工業生産や小売売上高、2月のIPCAインフレ率などが発表されました。鉱工業生産が市場予想を上回る下落となった一方、小売売上高は市場予想を上回る伸びと、強弱が入り交じる内容となりました。IPCAインフレ率も引き続き低位で安定しており、ブラジル経済の回復が緩やかであることが示されました。

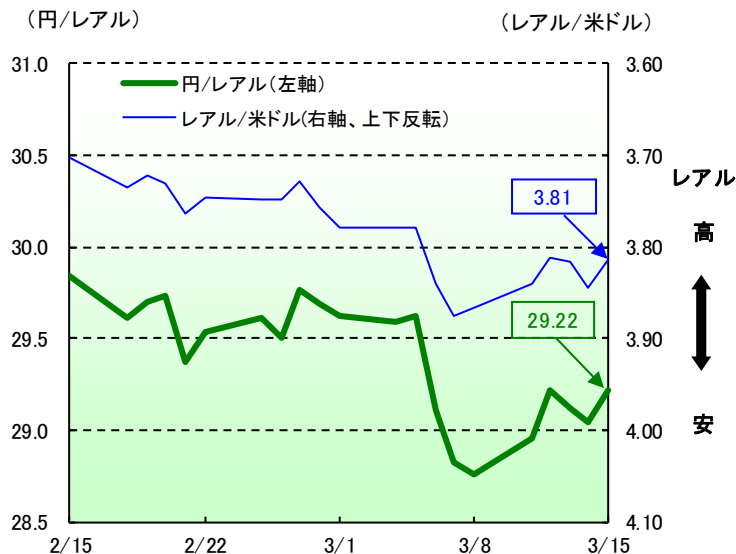
### 【2】今週の見通し

今週は、経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されていますが、こちらは据え置きが予想されています。また、ボルソナロ大統領がワシントンを訪れ、就任後初となるトランプ米大統領との会談を行うことが予定されています。

年金改革法案の下院憲法司法委員会での承認は楽観的な見通しが強まっていますが、下院での承認にはいまだ不透明感があるため、引き続き承認プロセスの進展を注視していきたいと考えます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年2月15日～2019年3月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2019年2月15日～2019年3月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>